FUJITSU Smartphone ARROWS M305/KA4

製品ガイド

CA92002-8987
`14.11（1 版）

このたびは弊社の製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。
本書をご覧になり、本製品を使用する準備をしてください。使用上のご注意は、必ずお読みください。

マニュアルについて

■ 安全にお使いいただくために

本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が『取扱説明書』に記載されています。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。

■ 本書の表記

- 本書の内容は 2014 年 11 月現在のものです。
- 本文中の画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なることがあります。また、イラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略したり形状を簡略化したりしていることがあります。
- 本書内の「認証操作」とは、機能に応じて暗証番号やパスワードを入力する操作、または指紋認証を行う操作を表しています。

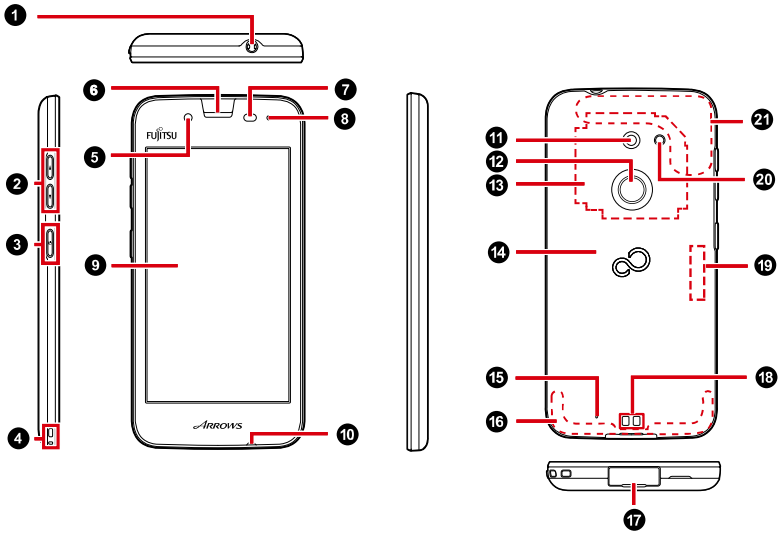
■ 商標および著作権について

- 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、その他権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- microSD ロゴ、microSDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- Google、Android、およびその他のマークは Google Inc.の商標です。
- Bluetooth® smart ready とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC の登録商標で、弊社へライセンスされています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- Wi-Fi、Wi-Fi ロゴ、Miracast、Wi-Fi Direct、Wi-Fi Alliance、WMM、Wi-Fi CERTIFIED、Wi-Fi CERTIFIED ロゴ、WPA、WPA2、Wi-Fi Protected Setup は Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- 本製品は、株式会社 ACCESS の NetFrontDocument Viewer を搭載しています。
  ACCESS、ACCESS ロゴ、NetFront は、日本国、米国、およびその他の国における株式会社 ACCESS の登録商標または商標です。
  Copyright©2014 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
- 本製品の一部分に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。
- その他、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。
- その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright FUJITSU LIMITED 2014

各部名称

本体



❶ **ヘッドセット／ステレオイヤホン端子（防水）**

❷ **音量ボタン（＋／－ボタン）**

各種機能の音量を調節します。－ボタンを長押しすると、音量が下がり、更に押し続けると、マナーモード（バイブレーション）になります。

❸ **電源ボタン（○ボタン）**

電源が切れているときに電源ボタンを 2 秒以上押し続けると電源が入ります。電源が入っているときに電源ボタンを押し続けると携帯電話オプションメニューが表示され、電源を切る、再起動の操作や、機内モード、マナーモード（ミュート、バイブレーション）の設定／解除ができます。また、画面を消灯／点灯させます（スリープモードの切り替え）。

❹ **ストラップホール**

❺ **前面カメラ（インカメラ）※1**

❻ **受話口／スピーカー**

❼ **近接センサー／RGB センサー※2**

近接センサーは通話中にタッチパネルの誤動作を防ぎます。RGB センサーは周囲の光の状態や明るさを検知して、ディスプレイの色味やバックライトの明るさを自動調節します。

❽ **お知らせランプ（着信ランプ）**

❾ **ディスプレイ（タッチパネル）**

❿ **送話口／マイク**

⓫ **背面カメラ（アウトカメラ）※1**

⓬ **指紋センサー**

指紋認証のほか、画面ロックの解除やスリープモードの設定／解除を行います。

⓭ **NFC アンテナ部※1,※3**

⓮ **リアカバー※4**

リアカバーを外して、電池パックを取り外すと、SIM カードスロットと microSD カードスロットがあります。

⓯ **背面マイク**

通話時に騒音を抑えるために使用します。ふさがないようご注意ください。

⓰ **内蔵アンテナ部※3**

⓱ **外部接続端子**

⓲ **充電端子**

⓳ **無線 LAN／Bluetooth アンテナ部※3**

⓴ **フラッシュ／ライト※1**

㉑ **GPS／LTE アンテナ部※3**

※1： カスタムメイドでなしを選択された場合は搭載されていません。

※2： センサー部分に保護シートやシールなどを貼り付けたり、指などでふさいだりすると、誤動作したり正しく検知されない場合があります。

※3： 本体に内蔵されています。手で覆うと通信品質に影響を及ぼす場合があります。

※4： リアカバーの裏面には、防水のためのゴムパッキンがついています。

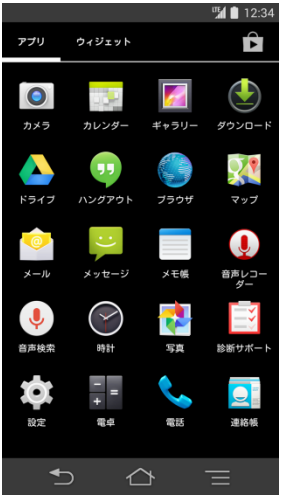
ホーム画面

ホーム画面は全部で 5 画面あり、指で画面をスライドする操作で切り替えます。
アプリのショートカットやウィジェットを置くことができます。

ステータスバー
状態や設定を確認できるアイコンが表示されます。画面の上から下へスライドすると通知パネルを開くことができます。通知パネルでは、通知アイコンの情報を確認したり通知を消去したりできます。

Google 検索 ™

アプリ／ウィジェットメニュー
をタップすると、アプリ一覧とウィジェット一覧が表示されます。



バック：直前の動作に戻ったり、アプリを終了したりできます。

ホーム
タップ：ホーム画面に戻ります。
ロングタッチ：最近使ったアプリを表示します。
ロングタッチして までドラッグ：Google 検索を起動します。

メニュー：壁紙、アプリの管理、システムの設定を表示します。

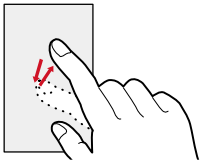
各画面は、実際の画面と異なる場合があります。

タッチパネル

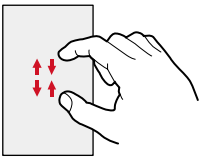
本製品のタッチパネルは静電容量方式です。

■ 基本操作

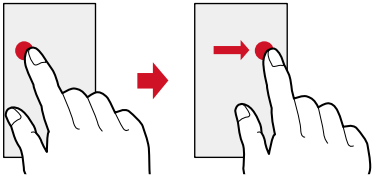
タップ：指を画面に軽く触れてから離します。
ロングタッチ：
画面に長く触れます。画面に指を触れたまま次の操作を行う場合もあります。



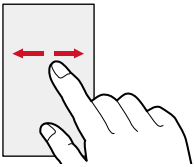
ピンチ：
画面に 2 本の指で触れたまま、指の間隔を広げたり（ピンチアウト）、狭くしたり（ピンチイン）します。



スライド（スワイプ）：
画面に指を触れたまま、縦横の方向に動かします。



フリック：画面に触れた指をすばやく払います。



ドラッグ：
画面の項目やアイコンに指を触れたまま、目的の位置に動かします。

■ 指で操作する場合の注意

- 画面を強く押さないでください。
- 濡れた手や、指先が汚れた状態で操作しないでください。
- つめでは操作できません。必ず、指の皮膚の部分が画面に触れるようにしてください。

■ 手袋タッチ

［設定］-［ユーザー補助］-［手袋タッチ］にチェックを付けると、手袋をしていてもタッチ操作できるようになります。

- 手袋の素材によってはタッチ操作がしづらい場合があります。
- タッチ操作がしづらい場合は、指を寝かせて指の腹をタッチパネルに接触させるように操作してください。
- ［手袋タッチ］にチェックを付けた状態で手袋をはめずにタッチ操作を行うと、タッチのしかたによっては、意図しない操作が実行される場合があります。

文字入力

文字入力欄を選択すると、画面上にキーボードが表示されます。
ここでは「NX!input」での入力について、メモの入力画面を例に説明します。

■ 入力方法の切り替え方

- テンキー入力パネル

- QWERTY 入力パネル
  ローマ字入力で入力します。

❶パネルを切り替え
❷文字を削除
❸文字入力を決定
❹文字種を切り替え
❺大文字と小文字を切り替え

※画面の状況に応じて、各ボタンの機能や表示が変化する場合があります。

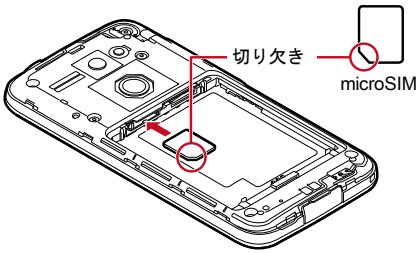
microSIM

- microSIM とは、電話番号などのお客様情報が記録されている IC カードです。
- microSIM が本製品に取り付けられていないと、電話の発着信や SMS の送受信などの機能を利用することができません。

microSIM の取り付け／取り外し

取り付け／取り外しは、本製品の電源を切り、リアカバーと電池パックを取り外してから行います（「電池パックの取り付け／取り外し」（→P.8）を参照してください）。

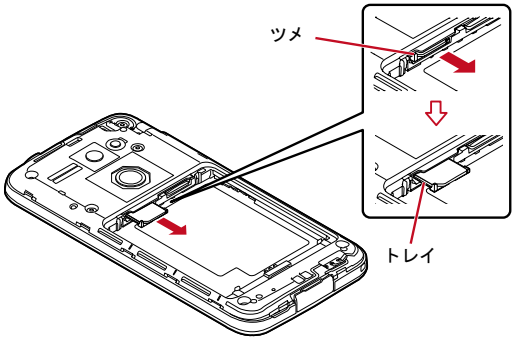
■ 取り付けかた



1. microSIM の切り欠き部分を手前にして、microSIM のスロットに差し込む

※ microSIM の向きにご注意ください。

■ 取り外しかた



1. トレイのツメに指先をかけ、まっすぐ水平に引き出す

2. microSIM を軽く押さえながら、矢印の方向へ引き出す

※ このとき microSIM を下方向に強く押し付けないでください。

3. トレイをまっすぐ水平に差し込む

お知らせ

- microSIM を取り扱うときは、IC に触れたり、傷つけないようにご注意ください。また、microSIM を無理に取り付けたり取り外そうとすると、microSIM が壊れることがありますのでご注意ください。
- トレイは外れない構造になっています。トレイを引き出す際はトレイ引き出し位置（トレイが自然に止まる位置）を目安とし、無理に引き出さないでください。トレイが破損する恐れがあります。

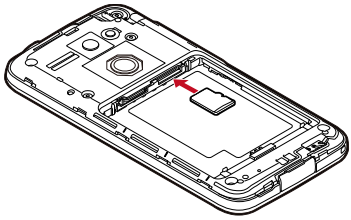
microSD カード

- 本製品は、2GB までの microSD カード、32GB までの microSDHC カードまたは microSDHC UHS-I カードに対応しています。
- 市販されているすべての microSD カードの動作を保証するものではありません。対応の microSD カードは各 microSD カードメーカーへお問い合わせください。
- microSD カードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れる恐れがあります。

microSD カードの取り付け／取り外し

取り付け／取り外しは、本製品の電源を切り、リアカバーと電池パックを取り外してから行います（「電池パックの取り付け／取り外し」（→p.8）を参照してください）。

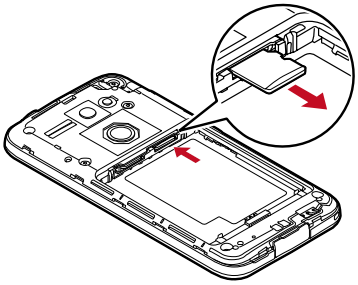
■ 取り付けかた



1. microSD カードの金属端子面を下にして、microSD カードスロットに「カチッ」と音がするまで差し込む

※ microSD カードの向きにご注意ください。

■ 取り外しかた



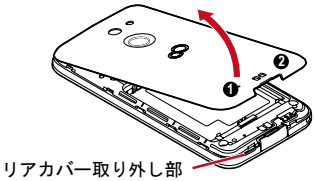
1. microSD カードを軽く押し込んでから離し、microSD カードをまっすぐ引き出す

電池パック

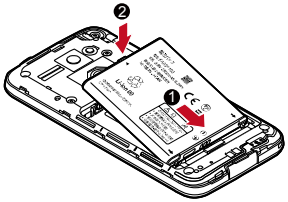
電池パックの取り付け／取り外し

- 電池パックの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- リアカバーの取り付け／取り外しは、本製品のディスプレイなどが傷つかないよう、手に持って行ってください。
- 本製品が濡れているときは、水分をよく拭きとってから、リアカバーを取り外してください。
- 本製品専用の電池パック FARBP103 をご利用ください。

■ 取り付けかた

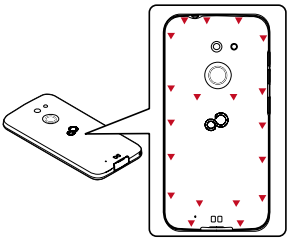


1. リアカバー取り外し部に指先を入れて、リアカバー裏のツメを ❶、❷ の順番で外してから、リアカバーを矢印の方向に取り外す



2. 電池パックのラベルの矢印面を上にして、電池パックの金属端子を本製品の金属端子に合わせて ❶ の方向に差し込みながら、❷ の方向に取り付ける

3. リアカバーの向きを確認し、本体に合わせるように装着する

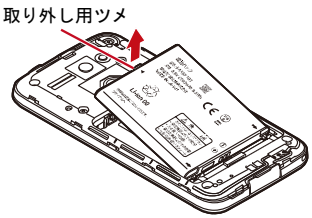


4. リアカバー裏のツメと本製品のミゾを合わせて［▼］部分をしっかりと押して、完全に閉める。

- 防水／防塵性能を維持するために、浮いている箇所がないことを確認しながら確実に取り付けてください。

※ 取扱説明書の「防水／防塵性能について」（→P.30）を参照してください。

■ 取り外しかた



1. 電池パックの取り付けの操作 1.を行う

2. 電池パックの取り外し用ツメをつまんで、矢印の方向に持ち上げて取り外す

■ 電池パックで運用するときの注意

- 本製品の使用中に電池の残量がなくなると、作成中のデータが失われることがあります。電池の残量に注意してお使いください。
- 本製品の機能を多用したり負荷の大きいソフトウェアを使用したりすると、多くの電力を消費するため電池の駆動時間が短くなります。このような場合や重要な作業を行う場合は、AC アダプタを接続することをお勧めします。
- 電池は使用しなくても少しずつ自然放電していきます。
- 低温時には電池駆動時間が短くなる場合があります。
- 周囲の温度が高すぎたり低すぎたりすると、電池の充電能力が低下します。

■ 寿命について

- 電池は消耗品です。長期間使用すると充電能力が低下し、電池駆動時間が短くなります。電池の駆動時間が極端に短くなったり、満充電にならなくなったりしたら電池の寿命です。
- 本製品を長期間使用しない場合でも、電池は劣化します。

■ 電池の残量を確認する

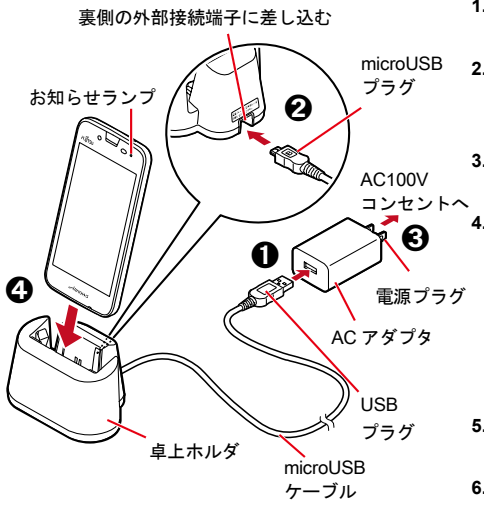
電池の残量は、画面上の で確認できます。また、ステータスバーを画面の上から下へスライドさせて、 をタップすると、電池残量を数値（%）で確認できます。

充電

- アプリを使いながら充電すると、充電が完了するまでに時間がかかったり、電池残量が減り充電が完了しなかったりすることがあります。充電を完了したい場合は、アプリを終了してから充電することをお勧めします。
- 充電中は本製品や AC アダプタが温かくなることがありますが、故障ではありません。本製品が温かくなったとき、安全のため一時的に充電を停止することがあります。本製品が極端に熱くなる場合は、直ちに使用を中止してください。
- 電池パックまたは端末の温度が充電可能な範囲外になった場合は充電エラーになり、お知らせランプが点滅または消灯します。温度が下がってから再度充電を行ってください。
- 長時間充電が完了しない場合は充電エラーになり、お知らせランプが消灯します。充電器から取り外して、充電し直してください。
- 電池パックの電圧に異常があると充電エラーになり、お知らせランプが点滅します。充電器から取り外すか電池パックを取り外して、正しい方法でもう一度充電を行ってください。以上の操作を行っても正常に充電できない場合は、一度電源を切ってから、「富士通 SupportDesk Android™ 専用窓口」またはご購入元にご連絡ください。
- 電池切れの状態で充電を開始した場合、電源を入れてもすぐに起動しないことがあります。その場合は、本製品の電源を切ったまま充電し、しばらくしてから電源を入れてください。
- 電池パックを一度取り外し、再度取り付けた直後は、電池残量が正しく表示されない場合があります。繰り返し使用することで、電池残量表示が補正されます。
- 充電しながら電池パックを取り外し再度取り付けた場合は、電池残量が正しく表示されない場合があります。

卓上ホルダを使って充電

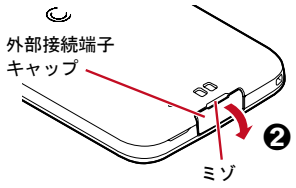
卓上ホルダ FAR-CR103 と AC アダプタ FMV-AC346 を使用した場合で説明します。



1. **microUSB ケーブルの USB プラグを AC アダプタの端子に差し込む(❶)**
2. **microUSB ケーブルの microUSB プラグを B の刻印面を上にして、卓上ホルダ裏側の外部接続端子へ水平に差し込む(❷)**
3. **AC アダプタの電源プラグをコンセントに差し込む(❸)**
4. **本製品を卓上ホルダに差し込み、お知らせランプの点灯を確認する(❹)**
   - 充電中はお知らせランプが赤色に点灯します。お知らせランプが点灯しない場合には、点灯するまで本製品を卓上ホルダに押し込んでください。
   - 充電が完了するとお知らせランプが消灯します。
5. **充電が終わったら、本製品を卓上ホルダから取り外し、AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜く**
6. **AC アダプタと卓上ホルダから microUSB ケーブルを抜く**

AC アダプタを使って充電

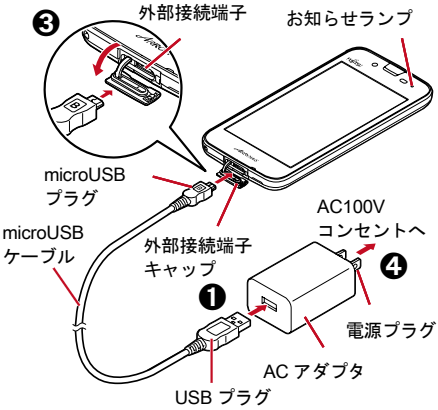
AC アダプタ FMV-AC346 を使った場合で説明します。



1. microUSB ケーブルの USB プラグを AC アダプタの端子に差し込む（❶）

2. 本製品底辺の外部接続端子キャップを開ける（❷）

- 外部接続端子を使用するときにはミゾに指先をかけて外部接続端子キャップを矢印の方向に開けてください。



3. microUSB ケーブルの microUSB プラグを B の刻印面を上にして、本製品の外部接続端子に水平に差し込む（❸）

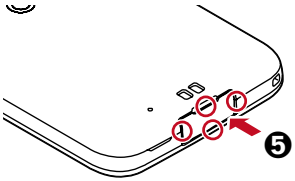
- microUSB プラグの向きにご注意ください。

4. AC アダプタの電源プラグをコンセントに差し込む（❹）

- 充電中はお知らせランプが赤く点灯し、充電が完了すると消灯します。

5. 充電が終わったら、AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜く

6. AC アダプタと本製品から microUSB ケーブルを抜く



7. 本製品の外部接続端子キャップをしっかりと閉じて矢印の方向に押し込む（❺）

- ○部分をしっかりと押し、外部接続端子キャップの浮きがないことを確認してください。

パソコンを使って充電

AC アダプタ付属の microUSB ケーブルを使って、本製品をパソコンから充電することができます。

■ ご使用時におけるセキュリティに関する注意

- 無線 LAN による通信は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に接続が可能であるという利点があります。その反面、セキュリティに関する設定を行っていない場合、次のような問題が発生する可能性があります。
  - 悪意ある第三者によって電波が故意に傍受され、個人情報やメールの内容などの通信内容を盗み見られる。
  - 悪意ある第三者によって無断で個人や会社内のネットワークへアクセスされ、個人情報や機密情報が取り出される。
  - コンピューターウイルスなどが流され、データやシステムが破壊される。
- 本来無線 LAN による通信は、これらの問題に対応するためのセキュリティのしくみをもっています。セキュリティに関する設定を正しく行うことで、これらの問題が発生する可能性を少なくすることができます。アクセスポイントなどの製品に添付されている取扱説明書に従い、これらの製品のセキュリティに関するすべての設定を必ず行ってください。
  なお、無線 LAN 通信の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。
  お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様ご自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生した場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。
- Bluetooth ワイヤレステクノロジーは、IEEE802.11b、IEEE802.11g や IEEE802.11n の 2.4GHz 帯規格の無線 LAN と同じ周波数帯の電波を使用します。そのため、電波干渉が発生して通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になる場合があります。このような場合は、Bluetooth 機器の電源を切るか、Bluetooth 機器を本製品から 10m 以上離してください。

■ 電波放射の環境への影響

- 本製品は、他の高周波デバイス同様に、高周波エネルギーを放出していますが、本製品が放出するエネルギーのレベルは、例えば携帯電話のような無線デバイスが放出する電磁エネルギーよりはるかに低く抑えられています。
- 本製品は、高周波安全基準および勧告のガイドライン内で動作するため、本製品の使用者に対し、安全性を確信しています。本基準および勧告は、科学界の統一見解を反映しており、研究班の審議および広範な研究文献を継続的に調査し解釈する科学者たちの委員会を根本としています。
- ある状況や環境において、本製品の使用は、建物の所有者や団体の責任ある代表者により制限されることがあります。例えば、下記にあげる場合です。
  - 他のデバイスやサービスに対し干渉の危険がある環境での使用
- 特定の団体や環境（例えば空港）で無線デバイスの使用に適用される方針が明確にわからない場合は、機器の電源を入れる前に本製品の使用許可について問い合わせをしてください。

■ 電波放射の人体への影響

本製品から放射される出力パワーは、例えば携帯電話が放射する電波のレベルよりはるかに低くなっています。それでも、本製品は、通常の動作中に人間の接触に対し電位が最小限にとどめられるように使用されなくてはなりません。使用中は本製品のアンテナ部分に極力触れないでください。

■ 無線 LAN による通信を行うための注意

- 本製品は、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご使用になると罰せられることがあります。
- 航空機内での使用は、各航空会社に事前にご確認ください。
- IEEE802.11g と IEEE802.11b が混在する環境では、IEEE802.11g は IEEE802.11b との互換性をとるため、IEEE802.11g 本来の性能が出ない場合があります。IEEE802.11g 本来の性能が必要な場合は、IEEE802.11g と

IEEE802.11b を別の無線 LAN ネットワークにし、使用しているチャンネルの間隔を 5 チャンネル以上空けてお使いください。

- 本製品の使用中、特に無線 LAN で通信中はアンテナ部分に極力触れないでください。通信性能が低下する場合があります。また、本製品を設置する場合には、周囲が金属などの導体（電気を通しやすいもの）でできている場所を避けてください。通信性能が低下し、設置環境によっては通信できなくなることがあります。
- このマニュアルに従わずに設定したり使用したりすると、無線通信に有害な干渉を生じることがあります。
- 本製品がラジオ、テレビの受信機に有害な干渉を与える原因となっている場合は（本製品の電源をオン／オフすることで、本製品が原因となっているかが判別できます）、次の方法で干渉を取り除くようにしてください。
  - 本製品と受信機の距離を離す
  - 受信機を接続しているコンセントと別系統回路のコンセントに本製品を接続する
  - 経験のあるラジオ／テレビ技術者に相談する
- 本製品の不正な改造は行わないでください。不正な改造により発生した、ラジオやテレビへの干渉についての責任は負いません。
- 近くに他のチャンネルを使用している無線 LAN 機器がある場合、干渉により本来の性能が出ない場合があります。この場合、他のチャンネルを使用している無線 LAN 機器と使用しているチャンネルの間隔を空けるように変更して、干渉の影響が最小となるチャンネルでお使いください。それでも解決しない場合は、他のチャンネルを使用している無線 LAN 機器から 3m 以上離して干渉の影響が最小となる場所でお使いください。

Bluetooth ワイヤレステクノロジー

■ ご使用時におけるセキュリティに関する注意

- Bluetooth ワイヤレステクノロジーでは、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に接続が可能であるという利点があります。その反面、セキュリティに関する設定を行っていない場合、次のような問題が発生する可能性があります。
  - 悪意ある第三者によって電波が故意に傍受され、個人情報やメールの内容などの通信内容を盗み見られる。
  - 悪意ある第三者によって無断で個人や会社内のネットワークへアクセスされ、個人情報や機密情報が取り出される。
  - コンピューターウイルスなどが流され、データやシステムが破壊される。
- 本来 Bluetooth ワイヤレステクノロジーは、これらの問題に対応するためのセキュリティのしくみをもっています。セキュリティに関する設定を正しく行うことで、これらの問題が発生する可能性を少なくすることができます。Bluetooth ワイヤレステクノロジー搭載製品に添付されている取扱説明書に従い、これらの製品のセキュリティに関するすべての設定を必ず行ってください。

  お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様ご自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。セキュリティ対策を施さず、あるいは、Bluetooth ワイヤレステクノロジーの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生した場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

■ 電波放射の人体への影響

- 本製品は、他の高周波デバイス同様に、高周波エネルギーを放出していますが、本製品が放出するエネルギーのレベルは、例えば携帯電話のような無線デバイスが放出する電磁エネルギーよりはるかに低く抑えられています。
- 本製品は、高周波安全基準および勧告のガイドライン内で動作するため、本製品の使用者に対し、安全性を確信しています。本基準および勧告は、科学界の統一見解を反映しており、研究班の審議および広範な研究文献を継続的に調査し解釈する科学者たちの委員会を根本としています。
- ある状況や環境において、本製品の使用は、建物の所有者や団体の責任ある代表者により制限されることがあります。例えば、下記にあげる場合です。
  - 他のデバイスやサービスに対し干渉の危険がある環境での使用
- 特定の団体や環境（例えば空港）で無線デバイスの使用に適用される方針が明確にわからない場合は、機器の電源を入れる前に本製品の使用許可について問い合わせをしてください。

■ 干渉に関する注意

- このマニュアルに従わずに設定したり使用したりすると、無線通信に有害な干渉を生じることがあります。
- 本製品がラジオ、テレビの受信機に有害な干渉を与える原因となっている場合は（本製品の電源をオン／オフすることで、本製品が原因となっているかが判別できます）、次の方法で干渉を取り除くようにしてください。
  - 本製品と受信機の距離を離す
  - 受信機を接続しているコンセントと別系統回路のコンセントに本製品を接続する
  - 経験のあるラジオ／テレビ技術者に相談する
- 本製品の不正な改造は行わないでください。不正な改造により発生した、ラジオやテレビへの干渉についての責任を負いません。

■ Bluetooth ワイヤレステクノロジーによる通信を行うための注意

- 本製品と通信相手の機器との推奨する最大通信距離は、見通し半径 10m 以内（出力 Class2 の最大値）です。ただし、Bluetooth ワイヤレステクノロジーの特性上、ご利用になる建物の構造・材質、障害物、ソフトウェア、設置状況、電波状況などの使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不能となる場合もありますのであらかじめご了承ください。
- 本製品の Bluetooth ワイヤレステクノロジー用アンテナは、本製品に内蔵されています。本製品の使用中、特に Bluetooth ワイヤレステクノロジーの通信中はアンテナ部分に極力触れないでください。通信性能が低下する場合があります。また、本製品を設置する場合には、周囲が金属などの導体（電気を通しやすいもの）でできている場所を避けてください。通信性能が低下し、設置環境によっては通信できなくなることがあります。
- 本製品は、他の電気機器から離して設置してください。本製品と電源が入った電気機器を近づけていると、正常に通信できなかったり、電気機器の障害になったりすることがあります。正常に通信できない場合は、使用場所を変更してください。特に、電子レンジなどの強い高周波エネルギーを出す機器の使用時は、影響を受けやすく、正常に通信できないことがあります。
- 放送局や無線機などが近く、正常に通信できないときは、本製品の設置場所を変えてみてください。周囲の電波が強すぎると、正常に通信できないことがあります。
- Bluetooth ワイヤレステクノロジーは、IEEE802.11b、IEEE802.11g や IEEE802.11n の 2.4GHz 帯規格の無線 LAN と同じ周波数帯の電波を使用します。そのため、ご使用の状態によっては無線 LAN と Bluetooth ワイヤレステクノロジーの電波が干渉し、他のパソコンなどとの通信速度が低下したり、Bluetooth ワイヤレステクノロジーで接続したワイヤレスヘッドホンなどの音質が悪くなったりする場合があります。

周辺機器

周辺機器の取り付け

■ 注意事項

- お使いになる周辺機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- お使いになる周辺機器によっては、取り付けた後に設定が必要な場合があります。詳しくは周辺機器の取扱説明書をご覧ください。

コネクタの接続／取り外し

■ 注意事項

- 周辺機器のコネクタの形状によっては、接続できない場合があります。周辺機器を接続する前にご確認ください。

セキュリティ

画面ロック機能

画面ロック機能を利用することで、本製品の起動時や画面をつけたときに画面ロックを解除しないと操作できないように設定することができます。

お知らせ

- 設定したパスワードやパターンなどを忘れてしまうと、本製品を使用できなくなります。設定したパスワードやパターンなどは忘れないように注意してください。

■ 画面ロックを設定する

画面ロックには、［スライド］、［フェイスアンロック］、［パターン］、［PIN］、［パスワード］、［指紋］を設定することができます。ここでは、パスワードを設定する方法を説明します。

1. ホーム画面で をタップ →［設定］→［セキュリティ］→［画面のロック］→［パスワード］の順にタップ

2. パスワードを入力 →［次へ］

3. 確認のため、再度パスワードを入力 →［OK］

お知らせ

- 「画面のロック」画面で［なし］を選ぶと、画面ロック機能が無効になります。

■ 画面ロックを解除する

本製品の起動時や画面をつけたときなどに画面ロックを解除する画面が表示されたら、設定した方法で解除してください。

指紋認証機能

指紋認証機能は、指紋センサーに指をスライドして行う認証操作です。

■ 指紋認証機能利用時の留意事項

- 本機能は指紋画像の特徴情報を認証に利用するものです。このため、指紋の特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証機能が利用できないことがあります。
- 指紋の登録には同じ指で 3 回以上の読み取りが必要です。異なる指で登録を行わないでください。
- 認証性能（正しく指をスライドさせた際に指紋が認証される性能）はお客様の使用状況により異なります。指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。なお、手

を洗う、手を拭く、認証する指を変えるなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証性能が改善されることがあります。

- お風呂上がりなどで指がふやけていたり、濡れていたり、汗をかいたりしている
- 指に汗や脂が多く、指紋の間が埋まっていたり、泥や油などで汚れている
- 手が荒れたり、指に損傷（切傷やただれなど）を負ったりしている
- 手が極端に乾燥している、乾燥肌である
- 太ったりやせたりして指紋が変化した
- 磨耗して指紋が薄い
- 登録時に比べ、認証時の指の表面状態が極端に異なる

- 指紋の登録・認証の際は、第 1 関節をセンサー中央に合わせ、センサーと平行になるように指を押し当てながら指紋センサーの領域を通過するまで下方向へスライドさせます。登録時と認証時の指の位置の違いによる認証失敗を防ぐためには、端末と同じ方向に指を置いてスライドさせてください。
- スライドが速すぎたり遅すぎたりすると、正常に認識できないことがあります。
- 親指は指紋の渦の中心がずれたりゆがんだりして、登録や認証が困難な場合があります。できるだけ指紋の渦の中心が指紋センサーの中心を通過するようにスライドさせてください。
- 指紋が正常に読み取れなかったときは、警告メッセージが表示されます。
- 指紋センサーに指を置いたまま指紋の登録・認証を開始すると、起動できない場合があります。指を離して操作をやり直してください。
- デスクトップパソコンなどアースを必要とする機器に本製品を USB ケーブルで接続するときは、必ず機器のアースが接続されていることを確認してください。アースが接続されていない状態で接続している間は、指紋認証できない場合があります。そのときは、本製品を機器から取り外して指紋認証を行ってください。
- 指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では本製品を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 指紋センサー利用時の留意事項

- 指紋センサー表面は防水性を有していますが、指紋センサー表面や操作する指先に水滴や汚れが付着した場合は誤動作の原因となります。柔らかい布で水滴・汚れを取り除いてご使用ください。また、水分により指先がふやけた場合でも、誤動作の原因となる場合があります。
- 次のような場合は、故障および破損の原因となることがあります。
  - ぶつけたり、強い衝撃を与えたりする
  - ひっかいたり、先の尖ったものでつついたりする
  - つめやストラップの金具など硬いものを押し付け、指紋センサー表面にキズが入る
  - 泥などで指紋センサー表面にキズが入る、表面が汚れる
  - シールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりする
- 次のような場合は、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。
  - ほこりや皮脂などの汚れ、汗などの水分の付着や結露
- 次のような現象が起きる場合は、指紋センサー表面を清掃してください。現象が改善されることがあります。
  - 指紋の登録失敗や認証失敗が頻発する
- 指紋センサーを清掃する際には、静電気の発生しにくい乾いた柔らかい布で表面の汚れを取り除いてください。長期間の使用によりゴミがたまることがありますが、その場合でも先の尖ったもので取り除かないでください。
- 静電気が故障の原因となる場合があります。指紋センサーに指を置く前に、金属に手を触れるなどして静電気を取り除いてください。冬期など乾燥する時期は、特にご注意ください。

■ 指紋登録

指紋認証に使う指の指紋を登録します。

- 指紋認証を利用するには、2 件以上の指紋登録が必要です。
- 最大 10 件登録できます。

1. ホーム画面で をタップ→［設定］→［セキュリティ］→［指紋の登録・削除］

- 認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定している場合は、認証操作が必要です。また、セキュリティ解除方法を設定していない場合でも、すでに指紋を登録しているときは指紋認証の操作が必要です。

2. 登録する指を選択→［登録に進む］→メッセージに従って指紋センサーを押さない程度の力で指をスライド

- セキュリティ解除方法を［指紋］に設定している場合で登録件数が 2 件のときは削除できません。

3.［完了］

- セキュリティ解除方法を指紋に設定するかの確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

アプリ

■ アプリを起動する

1. ホーム画面で をタップ → 起動したいアプリをタップ

■ ホームに戻る

1. をタップ

ホーム画面が表示されます。

■ 最近使ったアプリを起動する

1. をロングタッチ → 起動したいアプリをタップ

お手入れ

■ 本体表面の汚れ

- 乾いた柔らかい布で拭き取ってください。汚れがひどい場合は、水または水で薄めた中性洗剤を含ませた布を、固く絞って拭き取ってください。中性洗剤を使用して拭いた場合は、水に浸した布を固く絞って中性洗剤を拭き取ってください。
- 拭き取るときは、内部に水が入らないよう充分に注意してください。
- シンナーやベンジンなど揮発性の強いものや、化学ぞうきんは絶対に使わないでください。損傷する原因となります。

■ ディスプレイ／タッチパネル

- つめや指輪などで傷を付けないように注意しながら、乾いた柔らかい布かメガネ拭きを使って軽く拭き取ってください。水や中性洗剤を使用して拭かないでください。
- ディスプレイ／タッチパネルの表面を固いものでこすったり、強く押しつけたりしないでください。ディスプレイ／タッチパネルが破損するおそれがあります。
- 化学ぞうきんや市販のクリーナーを使うと、成分によっては、画面表面のコーティングを傷めるおそれがあります。次のものは使わないでください。
  - 界面活性剤を含んだもの
  - シンナーやベンジンなどの揮発性の強いもの
  - 研磨剤を含むもの

トラブルシューティング

よくあるトラブルと解決方法

ソフトの不具合や、気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、本書巻末の「お問い合わせ先」をご確認いただくか、ご購入元にご連絡ください。

■ 電源・充電

● 本製品の電源が入らない	• 電池パックが正しく取り付けられていますか。 • 電池切れになっていませんか。
● 画面が動かない **● 電源が切れない**	画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に電源ボタンを10 秒以上押すと、強制的に再起動することができます。 ※ 強制的に再起動する操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。
● 充電ができない（お知らせランプが点灯しない、または点滅する）	• 電池パックが正しく取り付けられていますか。 • AC アダプタをご使用の場合、AC アダプタの microUSB プラグが本製品に正しく接続されていますか。 • 卓上ホルダをご使用の場合、microUSB ケーブルが AC アダプタと卓上ホルダに正しく接続されていますか。 • 卓上ホルダをご使用の場合、本製品の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。 • AC アダプタの電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。 • AC アダプタ付属の microUSB ケーブルでパソコンから充電している場合は、パソコンの電源が入っているかご確認ください。 • 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本製品の温度が上昇してお知らせランプ（赤色）が消える場合があります。温度が高い状態では安全のために充電を停止しているため、ご使用後に本製品の温度が下がってから再度充電を行ってください。 • 温度の低い場所では充電が開始されない場合があります。適正な周囲温度（5°C～35°C）の場所で行ってください。

■ 操作・画面

● 突然電源が切れる、再起動する	電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
● タップしたり、ボタンを押したりしても動作しない	• 電源が切れていませんか。 • スリープモードになっていませんか。電源ボタン／指紋センサーを押して解除してください。
● タップしても正しく操作できない	• つめの先で操作したり、異物を操作面に乗せたままで操作したりしていませんか。 • ディスプレイに保護シートやシールなどを貼っていませんか。保護シートの種類によっては、正しく操作できない場合があります。 • 指で直接タッチパネルに触れて操作してください。 • タッチパネルが濡れたままで操作したり、指が汗や水などで濡れた状態で操作したりしていませんか。 • 水中ではタッチパネルの操作はできません。 • 手袋をしたままで操作する場合は、［設定］→［ユーザー補助］→［手袋タッチ］にチェックを付ける必要があります。［手袋タッチ］にチェックを付けているときに、手袋をした指を垂直に立てて操作すると動作しにくい場合があります。指を寝かせて指の腹をタッチパネルに接触させて操作してください。

● **電池の使用時間が短い**	• 複数のアプリを起動していると、電池の消費が増えて使用時間が短くなることがあります。実行中のアプリを終了するには、ホーム画面で をロングタッチ→サムネイルを左右にフリックしてアプリを終了してください。 • 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。 • 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 • 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1 回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。
● **microSIM が認識されない**	microSIM を正しい向きで取り付けていますか。
● **タッチパネルをタップしたとき/ボタンを押したときの画面の反応が遅い**	本製品に大量のデータが保存されているときや、本製品と microSD カードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。
● **操作中・充電中に熱くなる**	操作中や充電中、充電しながら電話などを長時間行った場合などには、本製品や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。
● **操作中・充電中に熱くなり、機能が利用できない** ● **電源が切れる**	カメラの使用やインターネット接続を長時間お使いになる場合などに、本製品の温度が高い状態が続き、ご使用の一部機能（充電、カメラ、無線 LAN など）が停止することがあります。 また、やけどを防ぐため本製品の電源が切れることがあります。
● **ディスプレイが暗い**	• 次の設定を変更していませんか。 -［設定］→［ディスプレイ］→［画面の明るさ］ • 本製品の温度が高い状態が続く場合は、ディスプレイが暗くなることがあります。
● **ディスプレイがちらつく**	［設定］→［ディスプレイ］→［画面の明るさ］→［明るさを自動調整］にチェックを付けていると、ディスプレイの照明が周囲の明るさによって自動的に変更されたとき、ちらついて見える場合があります。
● **ディスプレイに常時点灯するドット（点）や点灯しないドット（点）がある**	ディスプレイは非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に常時点灯するドットや点灯しないドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり、故障ではありません。
● **ディスプレイに残像が残る**	• 本製品の電源を切らずに電池パックを取り外すと、しばらくの間ディスプレイから残像が消えないことがあります。電池パックの取り外しは、電源を切ってから行ってください。 • しばらく同じ画面を表示していると、何か操作して画面が切り替わったとき、前の画面表示の残像が残る場合があります。
● **時計がずれる**	長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。 ［設定］→［日付と時刻］→［日付と時刻の自動設定］／［タイムゾーンの自動設定］チェックが付いていることを確認し、電波のよい所で電源を入れ直してください。

● **本製品動作が不安定**	• ご購入後に本製品へインストールしたアプリにより不安定になっている可能性があります。セーフモード（ご購入時に近い状態で起動させる機能）で起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 次の方法でセーフモードを起動してください。 - 電源が入っている状態で、電源ボタンを押し続ける→［再起動］をロングタッチ→［OK］ - 電源を切った状態で、お知らせランプが緑色に点灯するまで電源ボタンを押し続ける→POWERED BY android™のロゴ表示が消えて防水注意喚起画面が表示されたら音量ボタン［－］を押し続ける セーフモードが起動すると画面左下に［セーフモード］と表示されます。 セーフモードを終了させるには、電源を入れ直してください。 ※事前に必要なデータをバックアップしてからセーフモードをご利用ください。 ※アプリやウィジェットによってはホーム画面に表示されなくなる場合があります。 ※セーフモードは通常の起動状態ではありません。通常ご利用になる場合にはセーフモードを終了し、ご利用ください。
● **アプリが正しく動作しない（アプリが起動できない／エラーが頻繁に起こる）**	無効化されているアプリはありませんか。アプリを無効化にすると、他のアプリが正常に動作しなくなることがあります。 ［設定］→［アプリ］で、無効化されているアプリを有効にしてから、再度操作してください。
● **データが正常に表示されない** ● **タッチパネルを正しく操作できない** ● **アプリの動作が不安定**	電源を入れ直してください。

■ 通話・音声

● **をタップしても発信できない**	機内モードを設定していませんか。
● **通話中、相手の声が聞こえにくい** ● **相手の声が大きすぎる**	通話音量を調節してください。また、画面上の［はっきりボイス］をタップすると相手の声が聞き取りやすくなります。
● **通話ができない（場所を移動しても の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信、着信または通信ができない）**	• 電源を入れ直すか、電池パックまたは microSIM を取り付け直してください。 • 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は を表示している」状態でも、発信、着信または通信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。 • 優先ネットワークタイプの種類（GSM/WCDMA/LTE）を変更していませんか。 • 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は［しばらくお待ちください（音声サービス）］と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。
● **着信音が鳴らない**	• 電話着信時の音量設定を確認してください。 • マナーモードを設定していませんか。 • 伝言メモの応答時間設定を 0 秒に設定していませんか。
● **電話がつながらない**	• microSIM を正しい向きで取り付けていますか。 • 市外局番から入力していますか。 • 機内モードを設定していませんか。

● **ステレオイヤホン端子に接続したマイク付イヤホン（市販品）のマイクが使えない**	マイク付イヤホンのマイクをご使用の場合は、［設定］→［音］→［イヤホン接続時のマイク］→［イヤホンマイク］を選択してください。

■ メール

● **メールを自動で受信しない**	メール設定の同期頻度を［自動確認しない］に設定していませんか。

■ カメラ

● **カメラで撮影した写真やビデオがぼやける**	• カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。 • 被写体や撮影条件によってはフォーカスが自動で合わない場合があります。 • 画面をタッチすることでピントを合わせることもできます。

■ NFC※1

● **NFC が使えない**	• ［設定］→［その他］→［NFC］がチェックされていますか • 電源が入っていない状態では NFC の機能をご利用になれません。

※1: カスタムメイドで NFC 搭載を選択した場合

■ 海外利用

● **相手の電話番号が通知されない** ● **相手の電話番号とは違う番号が通知される** ● **電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない**	相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用している通信事業者によっては、発信者番号が通知されない場合や、相手の電話番号とは異なる番号が通知される場合があります。

■ データ管理

● **microSD カードに保存したデータが表示されない**	• microSD カードを取り付け直してください。 • ご使用の microSD カードの規格を確認してください。
● **USB ケーブルを接続しても認識しない**	USBHUB や長い USB ケーブルを使用していませんか。USBHUB や長い USB ケーブルを使用すると正常に通信ができない場合があります。 接続に使用する USB ケーブルを変えてみたり、パソコン側に複数の USB ポートがある場合は接続する USB ポートを変更したりしてみてください。
● **画像を表示しようとすると[壊れているか利用できない形式です]と表示される**	• 画像データが壊れている可能性があります。 • 本機ではサポートしていない画像フォーマットの可能性があります。

■ Bluetooth 機能

● **Bluetooth 通信対応機器と接続ができない** ● **サーチしても見つからない**	• Bluetooth 通信対応機器の取扱説明書を確認してください。 • Bluetooth 通信対応機器と本機の距離が離れている場合は接続できないことがあります。 • 登録済みの機器を削除して、再度機器登録をしてください。
● **カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本製品から発信できない**	相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本製品の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

■ 指紋認証

● **指紋認証や登録の際、センサーに指を触れていないのに［もう少しゆっくりなぞってください］［もう少し速くなぞってください］などと表示される**	センサー表面が濡れていたり、結露していたりすることが考えられます。柔らかい布で水分を取り除いてからご使用ください。
● **指紋センサー利用時にディスプレイの表示が消える**	指紋センサーを押してしまうと、スリープモードになります。指紋センサーを押さない程度の力で指をスライドさせてください。
● **パソコンなどと本製品を接続したときに指紋認証できない**	デスクトップパソコンなどアースを必要とする機器に本製品を USB ケーブルで接続するときは、必ず機器のアースが接続されていることを確認してください。アースが接続されていない状態で接続している間は、指紋認証できない場合があります。そのときは、本製品を機器から取り外して指紋認証を行ってください。

■ その他

● **故障かな？と思った時、想定の動きをしない時**	［診断サポート］アプリをご利用いただくことでお使いのスマートフォンに故障や問題がないかを診断することができます。お問い合わせの前にご利用ください。 診断できる現象と確認事項につきましては よくある QA 一覧 http://www.fmworld.net/product/phone/biz/fj/faq/ をご参照ください。

■ エラーメッセージ

● **空き容量わずか 一部のシステム機能が動作しない可能性があります**	本製品の空き容量が低下している場合に表示されます。 ［設定］→［アプリ］から不要なアプリを削除してください。また、実行中のアプリを終了したり、アプリのキャッシュを消去したりすることで、本製品の空き容量を増やすことができます。
● **電池残量がありません。シャットダウンします。**	充電する必要があります。「充電」（→P.10）を参照してください。
● **SIM カードが挿入されていません**	microSIM が正しく取り付けられているか確認してください。
● **SIM カードはロックされています。**	PIN コードを有効にしているときに電源を入れると表示されます。正しい PIN コードを入力してください。
● **SIM カードが取り外されました。 端末を再起動します。**	microSIM の IC が汚れているときに表示されることがありますが、故障ではありません。microSIM の IC は定期的に清掃してください。

仕様

本体仕様

品名		ARROWS M305/KA4
型名		FARM02001
OS		Android™ 4.4
CPU		MSM8926 Quad Core 1.2GHz
メモリ※1（RAM/ROM）		1GB/8GB
		2GB/16GB（カスタムメイド）
		2GB/32GB（カスタムメイド）
ディスプレイ	サイズ / 解像度	約 4.5 インチ / 720 × 1280
	タッチパネル	静電容量方式
外形寸法（W×D×H）		約 138 × 67 × 10.9 mm
質量		約 152g
カメラ		前面カメラ：約 130 万画素 背面カメラ：約 810 万画素
		なし（カスタムメイド）
通信機能	無線 LAN	IEEE802.11 a/b/g/n/ac 準拠※2
	無線 WAN	LTE、HSPA、UMTS、GSM、GPRS
	Bluetooth®バージョン	Ver.4.0 準拠
	NFC バージョン	なし
		あり（カスタムメイド）
	GPS	あり
セキュリティ	生体認証	スマート指紋センサー
外部ディスプレイ出力		Miracast
ダイレクト・メモリースロット		microSD™ / microSDHC™ メモリーカードスロット※3×1
インターフェース	USB	microUSB※4×1
	オーディオ	ヘッドセット / ステレオイヤホン端子
防水・防塵		IPX5 / IPX8, IP5X
耐薬品		対応薬品（エタノール、IPA、次亜塩素酸ナトリウム）※5
バッテリー容量		2,500mAh
連続通話時間		約 670 分※6
連続待受時間		約 950 / 700 時間（UMTS/LTE）※6
バッテリー充電時間		約 150 分※7
電源供給方式		AC アダプタ（添付の microUSB ケーブル経由）

※1： 本体内蔵のメモリは取り外しできません。また、メモリの増設はできません。

※2： 対応しているセキュリティプロトコルは WEP、WPA/WPA2、PSK、802.1xEAP です。

※3： 2GB までの microSD カード、32GB までの microSDHC カードまたは microSDHC UHS-I カードに対応しています。

※4： すべての USB 対応機器の動作を保証するものではありません。本 USB コネクタは、充電にも使用します。

※5： 除菌シートによるふき取りを想定した耐薬品性能です。薬品による無変色・無塗装剥れ・無変形等を保証するものではありません。

※6： 当社測定基準によります。ご使用の環境により異なる場合があります。

※7： 電源オフ時の充電時間です。

廃棄・リサイクル

弊社ではお客様から排出される機器を回収リサイクル（有償）し、リチウムイオン電池など資源の有効活用に積極的に取り組んでいます。詳細は当社ホームページ「事業系 IT 製品リサイクルサービス」(http://fenics.fujitsu.com/outsourcingservice/lcm/recycle/)をご覧ください。

オープンソースソフトウェア

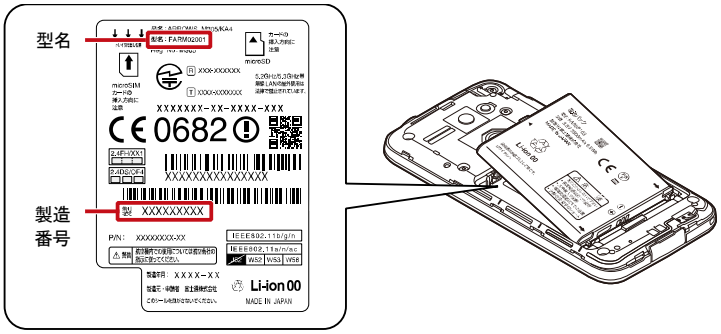
- 本製品には、Apache License V2.0 に基づきライセンスされるソフトウェアに当社が必要な改変を施して使用しております。
- 本製品には、GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれております。ライセンスに関する詳細は、ホーム画面 で［設定］→［端末情報］→［法的情報］→［オープンソースライセンス］をご覧ください。
- 本製品で使用しているオープンソースソフトウェアのソースコードは、
  GPL (http://www.gnu.org/licenses/oldlicenses/gpl-2.0.html、http://www.gnu.org/licenses/gpl-3.0.html)、
  LGPL (http://www.gnu.org/licenses/lgpl-2.1.html)、MPL (http://www.mozilla.org/MPL/MPL-1.1.html)、
  CPL (http://www.eclipse.org/legal/cpl-v10.html)の規定に従い開示しております。
  詳しくは、次のサイトの本製品に関する情報をご覧ください。
  http://www.fmworld.net/android/oss/

お問い合わせ先

下記をご覧になっても不明な点がございましたらお問い合わせください。

- マニュアル
  http://www.fmworld.net/biz/fmv/support/fmvmanual/
- よくある QA 一覧
  http://www.fmworld.net/product/phone/biz/fj/faq/

お問い合わせの前に、本体の銘板シールまたは保証書に記載されている、型名、製造番号の確認をお願いします。本体の銘板シールを確認する際は、必ず電源を切ってからリアカバー、電池パックを取り外してください。リアカバーと電池パックの取り外しかたは「電池パックの取り付け／取り外し」（→P.8）をご参照ください。



富士通 SupportDesk Android™ 専用窓口
［通話料無料］0120-914-746
［受付時間］月曜日～金曜日 9：00～17：00（祝日、12/30～1/3 は除く）

ARROWS
製品ガイド
CA92002-8987
発 行 日：2014 年 11 月
発行責任：富士通株式会社
〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

● 本書に掲載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品と異なる場合があります。
● 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
● 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
● 無断転載を禁じます。
● 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。